

〈沖縄県立開邦高等学校〉

(美術) 授 業 シ ラ バ ス

|    |    |     |            |
|----|----|-----|------------|
| 教科 | 科目 | 単位数 | 学科・学年・学級   |
| 美術 | 素描 | 2単位 | 芸術科 第2学年6組 |

1 学習の到達目標等

|          |   |      |           |
|----------|---|------|-----------|
| 学習の到達目標  | 対象をよく観察し、形態を分析的に捉え空間・立体感を正しく把握し、適切な表現方法による表現能力を身につける。 |      |           |
| 教科書・副教材等 | 石膏デッサン【木炭・鉛筆】   | 授業形態 | 一斉授業・個人制作 |

2 学習計画

| 学期      | 月      | 学習内容   | 学習のねらい  | 評価の観点   | 考査                                 |
|---------|--------|--|---|---|------------------------------------|
| 1<br>学期 | 4<br>5 | 静物デッサン<br>黒ビニール・ヒモ・木   | ・それぞれのモチーフとの関係を考え、構図に注意して表す。<br>・黒のモチーフの明暗を捉える。         | ・比率、奥行きなどを捉えプロポーションが適切であるか。<br>・濃淡の幅、立体感、質感、空気感が表現できているか。               | 鉛筆<br>中間<br>デッ<br>ッサ<br>ン          |
|         | 5      | 静物構成<br>アンスリウム   | ・植物のかたちを観察し、美しいフォルムの構成を探る。                              | ・アンスリウムのかたちを生かした構成になったか。<br>・濃淡の幅、立体感、質感、空気感が表現できているか。                  |                                    |
|         | 6      | 自画像<br>木炭デッサン  | ・人体の骨組み、肉付きを理解し、的確な明暗の表現をする。<br>・個々の特徴を観察し、それを捉えた表現をする。 | ・人体の骨組み、肉付きを理解した表現になっているか。<br>・濃淡の幅、立体感、質感、空気感が表現できているか。                | 鉛筆<br>期<br>末<br>デッ<br>ッサ<br>ン      |
|         | 7      | タイムス展に向けた自由表現  | ・静物、人物、風景等からモチーフを選び基礎の延長としての表現を学ぶ。                      | ・モチーフを選択し、個性ある表現ができたか。<br>・構図を考え、観察力、取材力を駆使できたか。                        |                                    |
| 2<br>学期 | 9      | 読書感想画に向けた構想画   | ・感動や感想をかたちに変換する表現力を養う。                                  | ・感動を伝えるための構図や色彩の工夫があるか。<br>・登場する人物やモチーフの表現力があるか。                        | 鉛筆<br>中<br>間<br>デッ<br>ッサ<br>ン      |
|         | 10     | 石膏像<br>鉛筆デッサンNo1   | ・デッサンにおける鉛筆の扱い方の研究。立体感・空間感・質感を捉えた表現方法について学ぶ。            | ・デッサンにおける鉛筆の扱い方の研究。立体感・空間感・存在感を捉えた表現になっているか。                            |                                    |
|         | 11     | 石膏像<br>鉛筆デッサンNo2   | ・石膏像の周りの空間を描くことによって、石膏像との関係を捉え、空気感を学ぶ。                  | ・奥行きや立体感などを捉えた表現であるか。<br>・光の方向性を捉えた明暗の調子が表現されたか。<br>・石膏像と空間がしっかり表現されたか。 | 鉛筆<br>期<br>末<br>デッ<br>ッサ<br>ン      |
|         | 12     | 構想デッサン   | ・画面の向きを変えながら、対象のモチーフを重ねそこから見えるイメージをまとめ表現することを学ぶ。        | ・デッサンの基礎を踏まえた表現力はあるか。<br>・イメージを膨らませ、作品をまとめる能力はあるか。                      |                                    |
| 3<br>学期 | 1      | 新聞からテーマを探る   | ・新聞から興味のある記事を選択し、自分の伝えたいメッセージをかたちに変換する表現力を養う。           | ・メッセージを伝えるための構図や色彩の工夫があるか。<br>・モチーフの表現力が的確か。                            | 鉛筆<br>学<br>年<br>末<br>デッ<br>ッサ<br>ン |
|         | 2<br>3 | 石膏像<br>木炭デッサンNo1   | ・木炭の扱い方に工夫し、構図や形を捉えて表す。                                 | ・構図や比率などを捉えプロポーションが適切であるか。<br>・濃淡の幅、立体感、質感、空気感が表現できているか。                |                                    |
| 年間の評価   |        | 定期テストや作品の提出状況、観点別評価(主体的に取り組む態度、思考力・判断力・表現力、知識・技能)などを総合的に判断し評価する。 |   |   |                                    |

3 その他